

加工～塗装： 概要

職務遂行のために必要な知識

（概要）

塗装とは、金属や木材などの被塗装物をエアスプレーやはけを用いて塗料を付ける作業をいう。塗装作業は、被塗装物の種類及び性質によって、木工塗装作業、金属塗装作業、建築塗装作業などに分かれる。

（仕事の内容）

塗装の方法は、はけを使う場合、ローラーブラシを使う場合、エアスプレーを使う場合の３種類があり、それぞれの方法に別々の技術・技能が要求される。

塗装作業における一般的な作業工程としては、まず、素地の状態を調べ、洗剤液や手道具などを使って表面をきれいにし、塗装ができる状態にする。この調整作業の完了後、下塗りやパテ付けを行い、その後は目的に応じた塗装を、はけ・ローラーブラシ・エアスプレーなどを用いて行う。

求められる経験・能力

- （１） 入職に際して、公的資格や免許、学歴などは特に必要ない。
- （２） 技能検定（塗装）の資格（１級、２級）を取得することで技能が社内で認められて地位が向上することが多い。また、転職時にも、資格保有者は有利である。
- （３） 塗装作業そのものは単純作業が中心であるものの、段取りの複雑さや、前後の工程と関係の深い仕事であることから、判断力や協調性が必要とされる仕事である。

（関連する資格・検定等）

- ・ 技能検定制度 （職種：塗装） １級 金属塗装作業、噴霧塗装作業 ２級 （１級に同じ）
- ・ 有機溶剤作業主任者、危険物取扱者
- ・ 特定化学物質等作業責任者、毒物劇物取扱主任者
- ・ 衛生管理者